

私達のまちの観光魅力アップ作戦 コンテスト 優秀賞

実施期日 平成27年11月13日

平成27年11月23日付 北鹿新聞掲載

観光魅力アップコンテスト

実現性高く優秀賞

大館高の2年生3人
エダマメで地域PR

通過した県外2チームを含む16チームが参加した。

大館高はテーマに「土産品開発プラン」を選び、県が日本一を目指し、学校でも商品開発などに継続して取り組んでいるエダマメに焦点を当てた。発表者は萬田静香さんをリーダーに、新沢まりんさ

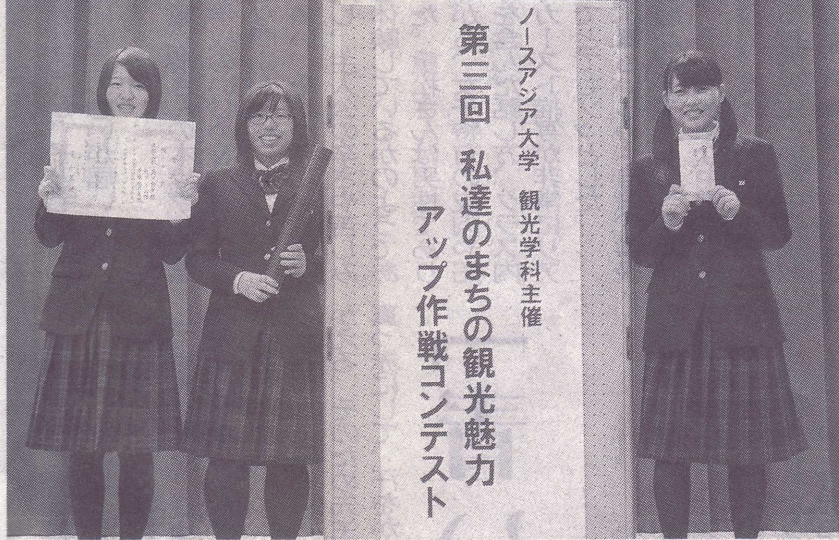
ん、齋藤明日夏さんの2年生3人。

大館市は寒暖の差が大きいく、「甘くておいしく育つ」ことや、栄養価を紹介。構想として、地元企業などに生徒考案レシピをプレゼンテーションし、オリジナルスイーツやエダマメをふんだんに使った「マメダテ弁当」の共同開発など、具体的に商品化に向

けた取り組みをPR。新沢さんが考案した、エダマメを模したオリジナルキャラクター「まめよつとちゃん」も紹介した。

最優秀賞1点と優秀賞のもう1点は県外の学校のため、本県唯一の入賞。「地域と交流しながら時間をかけて計画され、実現できる可能性がある」などと講評されたという。3人は「地域活性化と、大館に来てもらい、また行きたいと思ってもらえるお土産を考えなかった。実現できたうれしい」と話した。

高校生の視点で観光資源や地域の魅力を発掘する第3回「私達のまちの観光魅力アップ作戦コンテスト」がこのほど、秋田市のノースアジア大学で開かれ、大館高校が「マメダテ〜えだまめのまち大館〜」と題した発表で優秀賞に輝いた。



ノースアジア大学 観光学科主催
第三回 私達のまちの観光魅力アップ作戦コンテスト

優秀賞の大館高3人、左から萬田さん、齋藤さん、新沢さん（ノースアジア大）＝大館高提供

同大観光学科主催、県と観光庁が後援。県内外の10校23チームが出展し、書類選考を

